

第1回臨時会

(会期：平成30年8月8日)

議決した案件

●条例案…2件 ●予算案…4件 ●承認案…1件
(●全会一致可決…7件)

Pick Up

平成30年7月豪雨災害関連の 予算等を議決

平成30年7月豪雨災害への対応のため、復旧の予算や土木施設・農業施設復旧のための組織変更の条例案を審議し、関連の議案をすべて全会一致で可決しました。

予算に関する議案

◎専決した補正予算の承認案

平成30年度東広島市一般会計補正予算（第3号）

歳入歳出額

補正前	補正額	補正後
752億4,204万3千円	18億4,700万円	770億8,904万3千円

主な内容

- ・避難者への救援物資、被災者用の市営住宅などに要する経費
- ・被災した消防・救急車両の更新や職員の時間外勤務手当などの経費
- ・道路、河川等の土砂の撤去や応急復旧に要する経費

◎補正予算案

平成30年度東広島市一般会計補正予算（第4号）

歳入歳出額

補正前	補正額	補正後
770億8,904万3千円	83億3,403万9千円	854億2,308万2千円

主な内容

- ・民有地内の災害廃棄物の撤去、災害弔慰金の支給などの経費
- ・被災した道路、河川、橋梁、農道など各種公共施設の復旧に要する経費

災害復旧推進課の設置

道路や河川等の災害復旧に迅速に取り組むことを目的として、建設部に新たに「災害復旧推進課」を設けるもの。関係部局の連携を図り、土木施設、農業用施設、林業用施設等の災害復旧事業に関して、総合的に把握し、復旧に向けた工程（ロードマップ）の作成と、その進行管理を行いながら、迅速な対応を行う部署を設け、一日も早い復旧を目指す体制を構築する。

災害弔慰金等支給審査委員会の設置

災害弔慰金等の支給に係る死亡、又は障害と災害との因果関係の判定及び当該判定に係る基準の検討に関する事、その他支給に関し必要な事項の審査に関することを所管する委員会を設置するもの。委員の定数は5人以内で、委員は、医師、法律に関し学識経験を有する者、その他市長が適当と認める者のうちから市長が任命する。

◎その他の条例案の内容

委員会審査概要

総務委員会

● 承認案第153号（専決処分の承認について）

Q 災害支援事業について、
り災証明、被災証明の発行数をもとに予算を組んでいるのか。

A 現時点で必要となる予算を見積もったものであり、今後、り災証明等が増え必要となるものが出てくれば、補正等の対応をしていきたい。

● 議案第154号（東広島市事務分掌条例の一部改正について）

Q 新設される課の設置期間はどうなっているのか。

A まだ被害の全容が見えておらず想定できない状況もあり、災害復旧の一定のめ

どが立つまでと考えている。

Q 新設の課に生活支援等のソフト事業も集約されているのか。

A ハード事業を対象として設置する課である。

● 議案第156号（平成30年度東広島市一般会計補正予算（第4号））

Q 東広島駅の渋滞対策はどうするのか。

A 臨時駐車場や送迎車の待機場所、駐輪場を設ける。



文教厚生委員会

● 議案第155号（災害弔慰金の支給等に関する条例の一部改正について）

Q 改正理由は何か。

A 今回の災害発生後、土砂撤去作業や心労等で亡くなられた方がおられる可能性があり、そうした方々への災害弔慰金支給に関する判断を行う必要があるためである。

Q 報道によると災害関連死と思われるケースが、本市では4件あるとのことであるが、これまでこうしたケースに対応してこなかったのか。

A これまでの災害においては、災害関連死と思わ

れるケースはなかった。なお、本市において、今回の災害による災害関連死があったとの報道はあったが、現在、市として災害関連死を認定したケースはない。

建設委員会

● 議案第158号（平成30年度東広島市水道事業会計補正予算（第2号））

Q 災害関係は、今後も金額が増える可能性があるか。

A これまでに災害対応の緊急的な措置として、3,400万円ほど既に流用対応をしており、今回の補正で追加をしている。